

第20回兵庫県杖道大会 実施要項

1. 主 催 (公財) 兵庫県剣道連盟
2. 後 援 兵庫県・(公財) 兵庫県スポーツ協会・神戸新聞社
3. 開催日時 令和7年 7月19日(土) 10:00 受付
10:15 開 会
4. 開催会場 神戸常盤アリーナ
神戸市長田区蓮池町1-1
TEL(078)631-1701
5. 出場資格 当連盟の会員であること。
6. 試合・審判規則及び試合方法
 - (1) 全日本剣道連盟杖道試合・審判規則、杖道試合・審判細則及び本大会審判申合せ事項にしたがって行う。
 - (2) 団体試合並びに段外～六段までの個人試合とし、各段別トーナメント方式により行う。
 - (3) 仕打交代は行わない。
 - (4) 個人試合の打太刀は原則として同段位者が行う。やむを得ず上位者が打太刀を行う場合には、そのつど審判主任に申告の上、許可を得ること。但し、一段上の者に限る。
 - (5) 演武の本数は、5～6本とし指定技は以下の通りとする。

段 外	:	着杖、水月、引提、斜面、左貫
初 段	:	着杖、水月、引提、斜面、左貫、物見
二 段	:	水月、引提、斜面、左貫、物見、霞
三 段	:	引提、斜面、左貫、物見、霞、太刀落
四 段	:	斜面、左貫、物見、霞、太刀落、雷打
五 段	:	物見、霞、太刀落、雷打、正眼、乱留
六 段	:	霞、太刀落、雷打、正眼、乱留、乱合
 - (6) 団体戦は以下の通りとする。

イ	団体戦は個人試合参加者5名で構成し、先鋒、次鋒、中堅は三段以下、副将・大将は五段以下とする。勝敗は勝者数により決する。
ロ	各会2チームまでの参加とする。
ハ	仕打交代はせず、仕・打の演武を総合的に判断し、勝敗を決する。

二 試合本数は夫々3本とし、演武する技・打太刀は以下の通りとする。

先鋒：着杖、水月、引提	先鋒の打太刀は次鋒が実施する。
次鋒：引提、斜面、左貫	次鋒の打太刀は中堅が実施する。
中堅：左貫、物見、霞	中堅の打太刀は副将が実施する。
副将：霞、太刀落、雷打	副将の打太刀は大将が実施する。
大将：正眼、乱留、乱合	大将の打太刀は副将が実施する。

ホ 4人および3人での参加も認める。4人の場合は、先鋒、中堅、副将、大将とする。3人の場合は先鋒、中堅、大将とする。打太刀は、前項に準じて実施する。

ヘ 選手の変更は大会開会前に各試合場進行係に申し出ること。

7. 七段演武

(1) 演武の本数および指定技は以下の通りとする。

古流2本(自由)、太刀落、雷打、正眼、乱留、乱合(仕打交代は行わない)

8. 審判員 参加申込者五段以上の指導者の中から選出し、委嘱する。

9. 表彰 団体・個人は、三位まで。
但し、参加人数によっては、二位までとする。

10. 参加料 個人試合・演武：1人 1,000円(傷害保険料を含む)
団体試合：1チーム 6,000円
*団体試合、個人試合ともに参加の場合は夫々の参加料が必要です。

11. 申込方法 別紙申込書(2部提出)に参加料を添えて申し込んでください。

12. 申込先 公益財団法人 兵庫県剣道連盟
〒657-0838 神戸市灘区王子町1-2-8 虹ヶ池ハイツ201号
TEL (078) 861-5145 FAX (078) 802-5240

13. 申込期日 **令和7年6月23日(月)必着**

14. その他

- (1) この大会は、全日本杖道大会選手の選考・推薦を兼ねる。
全日本杖道大会選手の選考・推薦委員は別途定める。
- (2) 審判員、試合者、個人演武者とも剣道着・袴(上下同色)を着用し、
左胸に名札をつけること。
- (3) 申込段位・称号は申込時点のものとする。
- (4) 安全・情報・警報対応についてはホームページ参照。
- (5) コロナ対応については「全剣連ガイドライン」に沿って実施します。

以 上